

お知らせ

令和4年度 第2回 和泉市立総合医療センター クリニカルカンファレンスの開催

Web
開催

日時：2022年7月28日（木）17：30～18：30

1. 『免疫チェックポイント阻害剤による
免疫関連有害事象とチーム医療』

和泉市立総合医療センター 腫瘍内科 部長 津谷 あす香

2. 『Tomo Therapy 装置を用いた全身照射』

和泉市立総合医療センター 中央放射線科 技師長 穴井 重男

参加方法については別紙ご参照ください。



地域連携センターだより

発行/和泉市立総合医療センター 地域連携センター（毎月1回発行）
電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX/直通 0725-41-2513



～ 専門・認定看護師のご紹介 ～

大切にしていること
人とのつながり

感染管理認定看護師
小田 学



認定看護師を目指したきっかけ

感染対策は一人ではできません。そのためスタッフ一人一人の感染対策の底上げが必要です。私は、職員一人一人が安心して感染対策に取り組み、地域住民の皆様へ質の高い医療を提供できるよう、感染管理という形で貢献したくて目指しました。

お仕事紹介

感染管理についてのシステム構築、院内外でのコンサルテーションや感染対策講習会、サーベイランス活動、マニュアル管理、職員の安心安全な感染対策へのサポートなどを行っています。

医療関係者の皆様へ

コロナは数年で終末が予想されます。私たちがコロナ対策で培ってきた知識や感染対策技術を、次の新興感染症がやってきたときも、皆様と連携し対応できる地域作りを目指したいです。

お知らせ

2022年度 緩和ケアチームオンライン学習会 予定

開催月	テーマ	講師
7月	告知のコミュニケーション 希死念慮とコミュニケーション	【精神科】松山 雅 【臨床心理士】渡邊 有香
9月	鎮静について	【緩和医療科】川原 玲子
10月	症状緩和について～疼痛～	【緩和薬物療法認定薬剤師】 宮武 望 【がん性疼痛看護認定看護師】野田 順子 【がん放射線療法看護認定看護師】白江 薫理
11月	アドバンス・ケア・プランニング	【緩和医療科】川原 玲子 【緩和医療科・腫瘍内科】長谷川 喜一 ★院内のみで実施予定
12月	せん妄について	【精神科】松山 雅 【緩和医療科・腫瘍内科】坂野 遼 【理学療法士】野口 勝司 【緩和ケア認定看護師】岡田 芙美子
2023年1月	終末期の患者・家族との関わり 退院支援の実際	【がん看護専門看護師】谷口 麻帆 【管理栄養士】佐治 利章 【社会福祉士】城戸 愛美

7月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ（休診案内）をご確認いただくか、地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



地域連携センター
予約受付時間

和泉市立総合医療センター 地域連携センター

月～金曜日 9：00～19：00まで

土曜日 9：00～13：00まで

（但し祝日・年末年始の休日は除く）

TEL:0725-41-3150（直通）

FAX:0725-41-2513（直通）



総合診療科のご案内

「初期診療センター構想」

私が前任地の国際医療福祉大学から、この和泉市立総合医療センターに着任して早1年3ヶ月になります。私はもともと肝移植などの消化器外科を専門としていましたが、50歳を機会に一般診療、2次救急、健診の2次精査などの「総合診療科」（「隙間産業」と自分では思っています。）に専門を変えました。

さて、総合診療とは、肝臓や心臓などの病気の原因臓器に限定されない医療です。すなわち、初診外来のみならず、健診の2次精査などの予防医学も守備範囲になります。通常の病気は、自ら治療を行う他、専門的な治療が必要な疾患については、当院のような専門科の多い病院では、他の臓器専門医との連携が容易です。

この点では、重症度や緊急度は違っても「救急科」と同じく、「全身を診る」という点では同じです。幸運なことに、2022年4月からは、岸和田徳洲会病院から名嘉祐貴先生が参入してくれました。名嘉先生は日本専門医機構が認定する総合診療専門医の第1期生です。さらに、救急部には近畿大学奈良病院救命救急センターから北澤康秀先生が常勤として赴任して頂き、当院における初期診療の基礎が固まりつつあると感じます。

先ほど述べましたように、「総合診療」と「救急科」は「全身を診る」という似た性格であるため、救急車で搬送された人が過呼吸症候群など軽傷で、いわゆるWalk-Inの人が腹膜炎や心筋梗塞など重症であったりします。

そこで、初診患者（救急車で搬送された人がWalk-Inの人かを問わず）を早期に診断し、総合診療専門医と救急専門医が協働し、これらの患者の初期診療を行い、病状をいち早く立て直し、専門科に依頼するか、他院に依頼するかなど「初期診療センター」として活動していくシステムを近日中に立ち上げていきたいと思っています。

ちなみに、私は平日の日中一般診察をしておりましたが、2021年4月から2022年3月まで計7,228人の一般患者さんしか診察できませんでした。これは、後に記載するコロナウイルスの繁忙期にはほとんど、一般診療ができなかったことによります。

一方、救急科は全員が非常勤の先生であったものの2021年4月～2022年3月までの受け入れ件数は2,894件でした。また、和泉消防より当院へ搬送された1,785件は和泉市全体の8,248件の21.6%にとどまり、公的病院の救急医療に関する使命を十分果たしているとは言えません。そこで、前述の北澤先生は、1日10件の救急車受け入れ、年間3,650件を目標に掲げられました。

また、この1年はコロナウイルスに翻弄された年でもありました。私自身当院で第4波、5波、6波と経験しましたが、この1年に当院で行われたPCRの総件数が7,648回（大人5,346回、こども2,302回、陽性率はそれぞれ44%と31%）、なかでも第6波の2月には2,209回（大人1,680回、こども529回、陽性率はそれぞれ66%と61%）と凄まじい勢いであり、この期間は総合診療がほとんど出来ないだけでなく、多くの職員の助けを借りて、この災害のような状況を乗り切りました。

今後も、コロナとの戦いは続くと思いますが、通常に総合診療を行えるよう、多くの仲間たちと頭を絞り、力を合わせていきたいと思っています。

最後に、地域の医療機関の先生にお願いしたいことがあります。初期治療に関しては人員も限られている上、病棟もほぼ満床のことが多く、早い時間帯での紹介をお願いしたいと思います。朝一番

で紹介を受けることができれば、コロナPCR、血液検査やCT等の画像検査を行い診断確定しつつ、さらに、補液などで病状を改善し、適切な施設に搬送することも可能です。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

総合診療科 副院長 北 嘉昭

大人のPCR検査依頼 実績（2021年度）



	合計	陰性	陽性	陽性率%
4月	337	254	83	25
5月	223	190	33	15
6月	166	160	6	4
7月	186	159	27	15
8月	406	262	144	35
9月	268	229	39	15
10月	113	109	4	4
11月	106	105	1	1
12月	143	143	0	0
1月	913	419	494	54
2月	1680	577	1103	66
3月	805	365	440	55
合計	5346	2972	2374	44



和泉市立総合医療センター 総合診療科 副院長 兼 臨床教育センター長 北 嘉昭 (きた よしあき)

- 〈資格〉
- ・医学博士・日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医
 - ・日本病院総合診療医学会 病院総合診療医・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
 - ・日本消化器病学会 専門医・指導医・日本肝臓学会 専門医・指導医
 - ・日本消化器内視鏡学会 専門医・日本消化器がん検診学会 総合認定医
 - ・日本大腸肛門病学会 専門医・指導医 (IIa)・日本消化管学会 胃腸科専門医
 - ・日本人間ドック学会 人間ドック健診専門医・日本がん検診・診断学会 がん検診認定医
 - ・日本乳癌学会 認定医・日本移植学会 移植認定医
 - ・日本感染症学会 ICD制度協議会 インフェクションコントロールドクター
 - ・日本ヘリコプター学会 ピロリ菌感染症認定医・日本外科学会 認定登録医
 - ・日本消化器外科学会 認定登録医・労働衛生コンサルタント

